



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スクロール

コード番号 8005 U R L <http://www.scroll.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 堀田 守

問合せ先責任者 (役職名) 経営統括部経営企画課長 (氏名) 山下 政彦 TEL 053-464-1114

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	17,544	11.4	941	8.7	1,039	6.8	533	△5.5
25年3月期第1四半期	15,754	4.4	866	△26.4	973	△24.1	564	△27.6

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 529百万円 (8.8%) 25年3月期第1四半期 486百万円 (△39.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	16.12	-
25年3月期第1四半期	17.06	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
26年3月期第1四半期	35,828		23,356		65.1	
25年3月期	33,779		22,990		68.0	

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 23,338百万円 25年3月期 22,982百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	5.00	-	5.00	10.00
26年3月期	-	-	-	-	-
26年3月期(予想)		5.00	-	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,000	1.9	△250	-	△100	-	△50	-	△1.51
通期	65,000	4.5	△300	-	0	-	0	-	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期 1Q	34,320,650株	25年3月期	34,320,650株
② 期末自己株式数	26年3月期 1Q	1,231,640株	25年3月期	1,231,617株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期 1Q	33,089,028株	25年3月期 1Q	33,089,429株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、平成25年7月26日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新政権による経済対策や金融政策に対する期待感から円安や株高が進行し、企業収益や個人消費に改善の動きが見られたものの、欧州における政府債務危機の長期化や新興国における景気減速などの影響から、依然として先行き不透明な状況が続いています。

小売業界におきましては、株価上昇に伴う資産効果や景気回復への期待感を背景とした消費者マインドの改善から一部高額商品が好調に推移するなどの動きが見られたものの、所得環境の改善の遅れや消費税増税に対する先行き不安などから、引き続き厳しい経営環境が続いています。

このような事業環境のなか、当社グループは、顧客獲得のための先行投資に重点をおいた中期経営計画「Scroll Renovation 2015」をスタートさせ、その完遂に向けて一丸となって取り組んでおります。当連結会計年度におきましては、「販売促進活動を中心とした大型先行投資の実施」を基本方針として定め、一つひとつの課題に着実に取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高17,544百万円（前年同四半期比11.4%増）となりました。利益面におきましては、営業利益941百万円（同8.7%増）、経常利益1,039百万円（同6.8%増）、四半期純利益533百万円（同5.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

当第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで「金融事業」としていた報告セグメントを、重要性がなくなったことにより、「その他」として表示しております。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

なお、セグメント別の売上高は連結相殺消去後、セグメント利益は連結相殺消去前の数値を記載しております。

① 通販アパレル事業

通販アパレル事業におきましては、前連結会計年度に引き続きF1層をターゲットとした『RAPTY』のブランド力の再強化を推進するとともに、平成25年3月に創刊したシニア向けカタログ『B r i l l a g e』の新規顧客の開拓に注力してまいりました。生協販売におきましては、カタログのビジュアルイメージの刷新などブランディングの推進を継続するとともに、新たな看板商品の開発など商品力の強化に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は7,491百万円（前年同四半期比7.5%増）となり、セグメント利益は732百万円（同11.2%増）となりました。

② 通販インナー事業

通販インナー事業におきましては、インターネット限定商品を企画販売するなど季節商品の拡充に努めてまいりました。生協販売におきましては、過去の販売データを分析し実需期を意識した販売を強化するとともに、日本製商品など付加価値の高い新たな主力商品の開発に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は2,449百万円（同6.3%増）となり、セグメント利益は122百万円（同6.8%減）となりました。

③ 通販L F事業

通販L F事業におきましては、有名タレントとのコラボレーション企画を推進するなど付加価値のあるインテリア商材の開発に取り組むほか、高級ブランドバッグ等のECサイト『AXES』において、品揃えの強化や楽天市場における販売の拡大に取り組んでまいりました。生協販売におきましては、お客様の声を反映した服飾雑貨商材の企画など、商品力の強化に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は3,880百万円（同16.3%増）となり、セグメント利益は207百万円（同0.4%増）となりました。

④ 通販H&B事業

通販H&B事業におきましては、プライベートブランド化粧品専門通販サイト『豆腐の盛田屋』において、新聞広告媒体を中心に新規顧客獲得のための積極的な先行投資を実施してまいりました。また、ナショナルブランド化粧品専門通販サイト『コスメランド』のオフィシャルサイトにおいて、新たに、シーズンやお客様のライフスタイルにあわせた特集コンテンツの提供を開始するなどサービスの拡充に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は2,334百万円（同39.5%増）となり、セグメント損失は5百万円（前年同四半期はセグメント利益23百万円）となりました。

⑤ ソリューション事業

ソリューション事業におきましては、一部既存クライアントの販売減少の影響を受けるなか、サービスレベルの更なる向上のため、フルフィルメント基盤の整備による物流品質の向上及び効率化、通販システムパッケージのリニューアル、後払い決済サービスの導入等に向けた先行投資を実施してまいりました。なお、平成25年6月6日付をもって当社連結子会社のスクリール360が、後払い決済サービスを提供する株式会社キャッチボールの株式の51%を取得し、当社の連結子会社といたしました。

以上の結果、売上高は1,362百万円（前年同四半期比3.6%減）となり、セグメント利益は13百万円（同79.0%減）となりました。

⑥ その他

その他事業である金融事業におきましては、保有債権の回収に専念しております。

以上の結果、営業収益は26百万円（同55.9%減）となり、セグメント利益は43百万円（同346.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は35,828百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,049百万円増加しました。これは主に流動資産における売掛金の増加によるものであります。

負債は12,472百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,683百万円増加しました。これは主に未払金の増加によるものであります。

純資産合計は23,356百万円となり、前連結会計年度末に比べ366百万円増加し、自己資本比率は65.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年4月26日の平成25年3月期決算短信で公表いたしました平成26年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	795	711
売掛金	11,904	13,247
たな卸資産	4,670	5,680
その他	2,812	2,278
貸倒引当金	△144	△154
流動資産合計	20,038	21,762
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,737	4,657
土地	4,745	4,745
その他（純額）	1,153	1,136
有形固定資産合計	10,636	10,539
無形固定資産	644	801
投資その他の資産		
その他	2,922	3,205
貸倒引当金	△463	△480
投資その他の資産合計	2,459	2,725
固定資産合計	13,740	14,066
資産合計	33,779	35,828
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,425	2,806
短期借入金	100	100
未払金	3,813	4,854
未払法人税等	40	298
引当金	292	208
その他	725	849
流動負債合計	7,397	9,117
固定負債		
長期借入金	2,375	2,350
退職給付引当金	517	534
その他の引当金	334	313
その他	164	157
固定負債合計	3,390	3,354
負債合計	10,788	12,472

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,812	5,812
資本剰余金	7,222	7,222
利益剰余金	9,807	10,175
自己株式	△698	△698
株主資本合計	22,144	22,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	632	627
繰延ヘッジ損益	202	191
為替換算調整勘定	3	6
その他の包括利益累計額合計	838	826
少数株主持分	8	18
純資産合計	22,990	23,356
負債純資産合計	33,779	35,828

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	15,754	17,544
売上原価	9,190	10,634
売上総利益	6,564	6,910
販売費及び一般管理費	5,697	5,968
営業利益	866	941
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	17	18
不動産賃貸料	19	16
業務受託手数料	—	25
為替差益	29	—
貸倒引当金戻入額	5	1
利息返還損失引当金戻入額	—	12
その他	37	34
営業外収益合計	115	114
営業外費用		
支払利息	1	4
不動産賃貸費用	4	3
為替差損	—	2
その他	2	6
営業外費用合計	8	16
経常利益	973	1,039
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産売却損	—	0
投資有価証券評価損	0	—
投資有価証券売却損	—	0
関係会社株式売却損	17	—
その他	0	0
特別損失合計	18	0
税金等調整前四半期純利益	955	1,040
法人税、住民税及び事業税	401	344
法人税等調整額	△11	154
法人税等合計	390	499
少数株主損益調整前四半期純利益	564	541
少数株主利益	—	7
四半期純利益	564	533

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	564	541
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	△4
繰延ヘッジ損益	△41	△11
為替換算調整勘定	△0	3
その他の包括利益合計	△77	△11
四半期包括利益	486	529
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	486	521
少数株主に係る四半期包括利益	—	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	通販 アパレル 事業	通販 インナー 事業	通販 L F 事業	通販 H & B 事業	ソリュー ーション 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	6,965	2,303	3,337	1,673	1,413	15,694	60	15,754	—	15,754
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	0	67	67	0	67	△67	—
計	6,965	2,303	3,337	1,674	1,481	15,761	60	15,822	△67	15,754
セグメント利益	658	131	206	23	62	1,083	9	1,093	△119	973

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△83百万円及び投資不動産の内部取引利益△36百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	通販 アパレル 事業	通販 インナー 事業	通販 L F 事業	通販 H & B 事業	ソリュー ーション 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	7,491	2,449	3,880	2,334	1,362	17,517	26	17,544	—	17,544
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	0	0	258	259	0	259	△259	—
計	7,491	2,449	3,880	2,335	1,621	17,777	26	17,803	△259	17,544
セグメント利益 又は損失(△)	732	122	207	△5	13	1,070	43	1,113	△73	1,039

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△34百万円及び投資不動産の内部取引利益△39百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで「金融事業」としていた報告セグメントを、重要性がなくなったことにより、「その他」として表示しております。

前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

(重要な後発事象)

「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」の導入及び第三者割当による自己株式の処分について

当社は、平成25年6月13日開催の取締役会において、当社グループ従業員に対する当社グループの中長期的な企業価値向上へのインセンティブ付与、福利厚生の拡充、及び株主としての資本参加による従業員の勤労意欲高揚を通じた当社グループの恒常的な発展を促すことを目的として、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship®)」(以下、「本プラン」といいます。)の導入を決議いたしました。これに基づき当社は平成25年7月5日に第三者割当によりスクリール従業員持株会専用信託口に対して自己株式の処分を行っております。その概要は以下のとおりであります。

1. 本プランの概要

本プランは、「スクリール従業員持株会」(以下、「本持株会」といいます。)に加入するすべての従業員を対象とするインセンティブ・プランです。本持株会の現時点での参加会社は、当社及び株式会社スクリール360、株式会社ムトウクレジットの3社であります。他の国内子会社の参加についても、今後順次検討してまいります。本プランでは、当社が信託銀行に「スクリール従業員持株会専用信託口」(以下、「E-Ship信託」といいます。)を設定し、E-Ship信託は、今後約3年にわたり本持株会が取得すると見込まれる規模の当社株式を予め取得します。その後、E-Ship信託から本持株会に対して継続的に当社株式の売却が行われるとともに、信託終了時点でE-Ship信託内に株式売却益相当額が累積した場合には、当該株式売却益相当額が残余財産として受益者適格要件を満たす者に分配されます。なお、当社は、E-Ship信託が当社株式を取得するための借入に対し保証しているため、当社株価の下落によりE-Ship信託内に株式売却損相当額が累積し、信託終了時点においてE-Ship信託内に当該株式売却損相当の借入金残債がある場合は、保証契約に基づき、当社が当該残債を弁済することになります。

2. E-Ship信託の概要

(1) 名称	野村信託銀行株式会社(スクリール従業員持株会専用信託口)
(2) 委託者	当社
(3) 受託者	野村信託銀行株式会社
(4) 受益者	受益者適格要件を満たす者(受益権確定事由の発生後一定の手続を経て存在するに至ります。)
(5) 信託契約日	平成25年6月14日
(6) 信託の期間	平成25年6月14日～平成28年5月31日
(7) 信託の目的	本持株会に対する安定的かつ継続的な株式の供給及び受益者適格要件を満たす者の信託財産の交付であります。
(8) 取得株式の種類	当社普通株式
(9) 取得株式の総額	163,855,800円
(10) 株式取得期間	平成25年7月5日
(11) 株式の取得方法	当社自己株式の第三者割当により取得

3. 自己株式の処分要領

- | | |
|------------|--|
| (1) 処分期日 | 平成25年7月5日 |
| (2) 申込期日 | 平成25年7月5日 |
| (3) 処分株式数 | 635,100株 |
| (4) 処分価額 | 1株につき258円 |
| (5) 処分価額総額 | 163,855,800円 |
| (6) 処分方法 | 野村信託銀行株式会社（スコール従業員持株会専用信託口）に割当処分いたします。 |